



No.106

さいばい ニュース

公益財団法人
神奈川県栽培漁業協会

発行所 〒238-0237
神奈川県三浦市三崎町
城ヶ島養老子
☎ 046(882)6980
FAX 046(881)2233

平成30年度 事業計画

神奈川県下の水産資源維持増大のため マダイ・アワビ・クロダイ・マコガレイ種苗生産・放流

要望の強いヒラメ種苗の供給も実施

当協会は昭和六十一年「栽培漁業に関する事業を行うことにより神奈川県の水産資源の維持増大を図り、漁業の振興と県民生活の向上に寄与する」ことを目的に設立され、今年で三十二年目を迎えることとなりました。

今年度はマダイ、アワビ、クロダイ、マコガレイ種苗の生産を行い、東京湾並びに相模湾への放流、漁業協同組合を始めとする水産団体への供給を行います。更に、業界の強い要望であるヒラメなどの種苗を入手し放流します。これら当協会の中核事業である種苗生



カサゴ種苗を斡旋、小学生が放流

産・放流並びに供給事業を行うことにより神奈川県の水産資源の維持増大を図ります。

そして栽培漁業と当協会の活動について理解と協力が得られるよう漁業者はもとより広く神奈川県民に対し、東京湾並びに相模湾の海洋環境の保全と水産資源を豊かに保つ必要性を訴えるため普及啓発活動を行います。

当協会の運営については、漁業経営の不振と遊漁者数の減少等から主な収入源である漁業者負担金や遊漁船業者等協力金は減少傾向にあり、また基本財産の利息収入の減

少等大変厳しい状況であります。

一方、種苗供給数も不安定ながら県内外の関係団体等の協力をいただき各種苗の増産を図る努力をします。特にサザエ種苗を県外水産関係団体等に積極的に配布していきます。

また、昨年に引き続き(公社)全国豊かな海づくり推進協会より負担金をいただき、他県と連携し広域にヒラメ種苗放流事業を展開します。

その一方、事業の執行については、経費の見直しを行い、効率的な協会運営に努めます。

事業の内容

(1) 種苗放流事業

①マダイ種苗放流事業		
ア. 種苗生産尾数	(全長20mm)	700,000尾
イ. 放流尾数	(全長60mm)	300,000尾
ウ. 放流場所	東京湾域	100,000尾
	三浦半島西岸域	100,000尾
	西湘域	100,000尾

(2) ヒラメ種苗放流事業

②ヒラメ種苗放流事業		
ア. 放流尾数	(全長60mm)	60,000尾
イ. 放流場所	東京湾域	20,000尾
	三浦半島西岸域	20,000尾
	西湘域	20,000尾

(2) 普及啓発事業

① PR推進事業

「栽培ニュース」(二千部/回、年二回)を作成し県

平成30年度予算

事業活動収入

科目	予算額(千円)
基本財産運用収入	8,618
特定資産運用収入	293
会費・賛助会費収入	900
種苗生産事業収入	73,251
種苗斡旋事業収入	45,036
資源造成推進事業	4,108
LED事業収入	1,392
漁業負担金収入	11,770
遊漁船協力金収入	9,851
マダイ協力金・募金	1,500
雑収入	210
計	161,469

収入予算

事業活動支出

科目	予算額(千円)
マダイ放流事業支出	28,940
ヒラメ放流事業支出	7,745
PR推進事業支出	5,091
効果調査事業支出	2,238
種苗生産供給事業支出	61,310
斡旋供給事業支出	36,854
管理費支出	23,632
計	165,810

支出予算

内の漁業協同組合、水産団体、遊漁団体、教育及び公共機関等へ配布し当協会の広報活動を実施します。

②イベント推進事業

各地の地域イベント等に参加し、漁業者をはじめ、広く一般県民に対し水産資源の保護、海洋環境の保全を強く訴え、栽培漁業の普及啓発を行います。

(3) 調査事業

①マダイ遊漁標本船調査

県内のマダイ遊漁船の中から川崎市から湯河原町までのマダイ遊漁船に標本船調査を実施する。(標本船十二隻)

※(種苗生産・放流・事業計画・表は二面に掲載しています)

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会役員改選

公益財団法人神奈川県栽培漁業協会 役員名簿

役職名	氏名	所属
理事長	太田 議	長井町漁業協同組合長
専務理事	今井 利為	(公財)神奈川県栽培漁業協会
理事	高橋 征人	神奈川県漁業協同組合連合会長
理事	黒川 忠雄	神奈川県遊漁船業協同組合理事長
理事	武井 正	(公財)相模湾水産振興事業団理事長
理事	久保寺 弘	横浜市漁業協同組合副組合長
理事	山田 正行	みうら漁業協同組合副組合長
理事	葉山 一郎	藤沢市漁業協同組合長
理事	徳江 好春	大磯二宮漁業協同組合副組合長

太田 議 理事長を再選

今年度は当協会が公益財団法人に移行して六年目になり、任期満了による理事の改選の年です。そのため、相模湾地区、三浦地区、横須賀地区、互選しました。

また、各水産団体の推薦で六月十五日の評議員会理事と監事が選任されました。そして、第二回の理事会で、太田議事理事と今井利為専務理事を再選しました。

平成30年度 種苗生産放流・幹旋供給計画

Table with 4 columns: 事業名, 種苗名(サイズ), 30年度(計画), 29年度(実績). Rows include 生産供給 (アワビ, サザエ, トコブシ, マダイ, クロダイ, マコガレイ, ヒラメ) and 幹旋供給 (ヒラメ, メバル, カサゴ, トラフグ, カワハギ).



供給事業でヒラメ種苗放流

平成三十年度種苗生産・供給事業

(4) 種苗生産・供給事業
①生産供給
アワビ、サザエ、トコブシ、マダイ、クロダイ、マコガレイ種苗を生産し...

平成二十九年度決算を収支計算書に基づき報告します。平成二十九年度の事業活動収入の計は一億五千二百二十五万円でした。...

平成29年度 決算報告

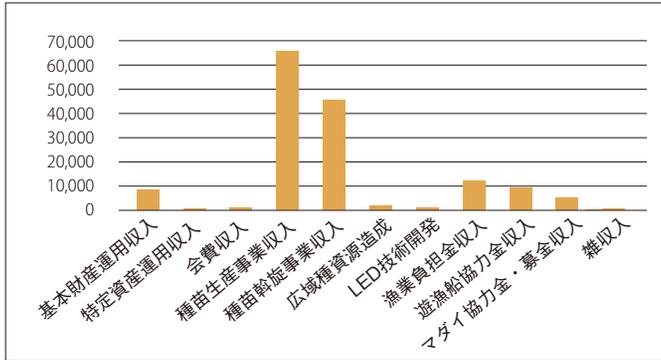


マダイ種苗放流

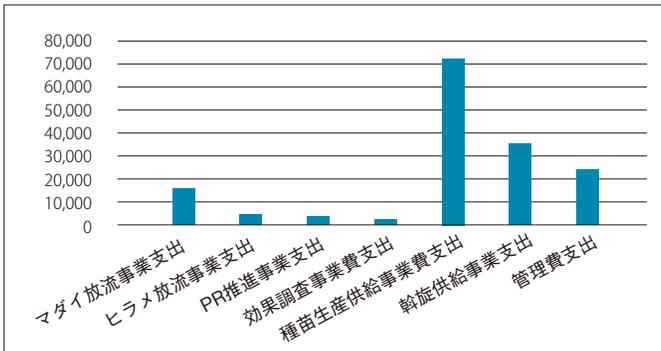
平成二十九年度の事業活動収入の計は一億五千二百二十五万円でした。内訳としては、基本財産運用八十万四千円、特定資産運用四十二万五千円、賛助会費九十三万二千円、種苗生産事業六千五百六十六万四千円、LED試験百三十九万二千円、広域種資源造成支...

*養殖用種苗

支出-決算額(千円)



収入決算額(千円)



29年度決算 事業活動収入

Table of 29年度決算 事業活動収入 with columns for 科目 and 決算額(千円).

事業活動支出

Table of 事業活動支出 with columns for 科目 and 決算額(千円).



ヒラメ種苗を放流する漁業者



子どもも放流

日本釣振興会神奈川県支部

ヒラメ種苗五千尾放流

小田和湾で漁業者
日本釣振興会神奈川県支部は六月三日、横須賀市長井町地先の海に合計五千尾のヒラメ種苗を放流しました。

平均すると全長が約七センチに育った大きな稚魚です。午前九時には、ヒラメ種苗を積んだ活魚運搬車が長井町・井尻港に着し、運ばれてきた五千尾のヒラメ種苗のうち四千尾は、同支部及び当協会職員がリリースし、町漁協所属の漁業者に手渡し、小田和湾に放流しました。

荒崎で親子連れ

千尾は「地域の未来を考える会」が行った「荒崎海岸クリーンフェスタ2018」に参加した親子連れが海岸に放流しました。



わが国の漁業生産の構造や就業構造を明らかにしようという漁業センサスは五年ごとに行われ、今年はその調査の年にあたります。漁村や水産物の流通・加工などの漁業を取り巻く実態と変化を総合的に把握することで、新しい水産基本計画に基づく水産行政施策の企画・立案・推進のための基礎資料を作成し提供する重要な調査です。今年十一月一日を調査基準日として「海面漁業調査」では漁業の種類、使用する漁船の規模、養殖も加えた漁業経営体の経営状況、個人経営体の世帯の状況及び世帯員の漁業就業日数などの状況を調べます。さらに、水産資源管理や漁場改善にどのように取り組んでいるか、そのための会合や集会の開催状況などにより漁業活性化をどのように目指しているかなども調査項目に上げられています。内水面漁業についても同様の調査を実施することになります。魚市場の施設及び取扱高、その他魚市場の現状を把握するために必要な事項も把握しようというものです。また、冷凍・冷蔵、水産加工場についても事業内容、従業員数、その他冷凍・冷蔵、水産加工場の現状を把握するために必要な事項を調査しようというものが「センサス」です。

神奈川県漁港めぐり・・・シリーズ④

第1種「柴漁港」

—知名度高い江戸前魚の水揚げ—



江戸前魚の水揚げ拠点、柴漁港

東京湾で江戸前の魚介類を獲得する小型底引網漁船の拠点の港である「柴漁港」は、大都市の中の漁港として横浜市をはじめとした首都圏の消費者に鮮度抜群の水産物を供給する港として大きな役割を果たしています。



小柴どんぶりや

この江戸前の魚介類は、毎週日曜日と祝日に営業している柴漁港内出荷所横にある「柴漁港名産直売所」で購入できます。また、取れたての漁獲物を食材にして食事を提供しているのが「小柴どんぶりや」です。特に、井から大きくはみ出したアナゴの天ぷらが中心の「小柴井」は多くのお客さんが注文する「超人気の丼です。



江戸前魚が買えると人気の直売所



キャベツはサザエのエサに有用

当協会では、磯焼けの影響で貝類の餌料となる海藻が入手困難になったため、三年前に地元特産のキャベツを餌料とした貝類の中間育成試験を始めた。今までの結果で、アワビとサザエについて、

新たな飼育技術開発に向けて
当協会では、磯焼けの影響で貝類の餌料となる海藻が入手困難になったため、三年前に地元特産のキャベツを餌料とした貝類の中間育成試験を始めた。今までの結果で、アワビとサザエについて、

リビエラ
リゾート
キスマスター

資源増大に役立てて
**栽培漁業
寄付**

棒面丸
ラブラブ
マダイ



渡邊副会長から寄付

三浦市・小網代のリビエラリゾートシーボニアは五月二十日、「キスマスター12018」を行いました。六十六艇のヨットやモーターボートが参加し、参加費の一部、五万九千円を当協会に寄付してくれました。



志村さんから寄付

三浦市松輪の棒面丸は今年も「ラブラブマダイ」釣りにイベントの表彰式で当協会に五万円を寄付してくれました。十年以上前から、棒面丸はマダイの釣り大会を行い、釣りの参加費の一部を積み立て、「マダイ資源の増大に役立てて」と寄付してくれています。



阪西職員



鈴木職員

この目的を達成するためにも、協会人員の拡充が不可欠となり、四月から二名に働いてもらうことになりました。

今年四月に栽培協会に採用されました鈴木奨馬です。自分は、今は魚の種苗生産の作業補助担当としての仕事を行っています。

協会の職員となり、三カ月がたちましたが、まだまだ覚えなければなりませんし、自分を改善しなければなりません。

◆新職員紹介◆
平成三十年度、四月一日付けで当協会は、鈴木奨馬、阪西竜次郎の二名の職員を採用しました。



標識の付いたヒラメ

**ヒラメ稚魚
標識放流**
再捕したら報告をお願いします

この目的を達成するためにも、協会人員の拡充が不可欠となり、四月から二名に働いてもらうことになりました。

太平洋南区栽培漁業推進協議会では、ヒラメの広域資源の造成を行っています。